

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 4-5(201)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和4年7月1日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

田植えの支援

学校応援団だより No.4-4(200)でお知らせしました、地域の方や保護者の支援で田植えが行われたので、その様子をお知らせします。

6月11日(土)、土曜授業の日に羽島小学校、荒川小学校、市来小学校では田植えが行われました。梅雨前後の天候のため、少雨決行ということで進められました。

荒川小学校では、全校児童17名と少ないこと、雨模様が続きそうなことなどから地域の方々と保護者の方で前もって、ある程度植え付けられていました。少雨決行で計画されていたので、児童全員も雨合羽を身に着け、保護者、地域の



前もっての植え付け作業



雨具をつけてがんばる～

の方々にも田んぼに入ってもらって全員での作業が始まりました。児童の間に保護者や地域の方が入ってくださったので、思ったより早く終了できて、植えた跡がきれいでした。

羽島小学校は、天気予報を参考にして、はじまりの時間をずらして田んぼに移動しま

した。初めて参加する3年生には植え方が教えられ、3～6年生37名の児童全員が、有村さんの支援・指導で田んぼに広がり、植え付け

が始まりました。横に長い田んぼなので条なわ張りには保護者に入ってもらいました。学校でモミ蒔きして、ほどよく成長した早苗を植え付けることができました。田植えのはじまりは雨も降らず順調でしたが、終わる前に小雨が降り出したので、すぐにお礼を述べて



横に長～く並んで



こうして植えるんだよ

学校へ急いで帰りました。

市来小学校は、5年生57名が、前もってモミ蒔きした早苗を使って田植えをしました。農業士の新村さんが田んぼの準備

などをされていたことや、後の天気のこととも考慮して田植えを決行することになりました。植え付ける苗の本数を2～3本をきちんと植えることなどの指導を受けて作業にはいりました。雨具を着ての作業



苗を大事に 2, 3本ね…



両組に分かれて がんばって

でしたが、児童も保護者も最後までがんばりました。

川上小学校では、6月2日（木）モミ蒔きして育てた早苗を22日（水）午前全児童30名と高齢者クラブの支援者と一緒になって植えました。児童が両手を広げて並べる間隔で広がり、間に先生や支援者が入って、作業がしやすい範囲になりました。高学年の児童は数回体験していることなので手際よくさっさと行動していました。田植え終了後、水路に入り、先生たちの助けを借りて体についたどろんこを落としました。大変楽しそうでした。



植え方はこうだよ・・・丁寧にね



みんなで植え付けるからね～

旭小学校では、栽培セットを使ってモミ蒔きをし、育てた早苗をバケツ栽培で育てるために6月23日（木）3、4年生がバケツと、田んぼに見立てた井筒の中に植えました。ボランティアの芹ヶ野さんが、準備してくださった土を入れたバケツに肥料を入れ、よくかき混ぜ、しばらく置きました。井筒にも芹ヶ野さんからもらった肥料を入れ、稲の根がよく伸びるように、移植ごてを使って深く掘り返しました。はじめ、苗を2～3本抜いて、根をそろえてバケツの中央に植え、土を寄せて倒れないようにしました。一人でバケツ3個ずつ育てることになりました。



左：バケツにこうして 右：両手でしっかり



照島小学校では、6月27日（月）に田植えをしました。16日（木）、20日（月）の予定が、天候や学校の行事などの都合で延期されました。米づくり協力会の方々の支援で準備された田んぼに5年生30名の児童と保護者15名が一緒に入って作業をしました。苗は少し伸びていましたが、手植えには適当な長さかなと会長さんが話されていました。水門が閉めてあったので田んぼの水が深くて植えにくそうでしたが、最後まで頑張っけて植えていました。植え終ると皆で横の溝で泥を落として、お礼の会や写真撮影をして学校へ帰りました。学校でシャワーを使ってきれいに泥を落とすとのことでした。



田んぼ横のレンコン田んぼ



張り切って・・・植え初めの時



一緒に見守りをして声掛け・・・

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会社会教育課
 (TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
 統括コーディネーター (串木野地域 濱田俊浩) (市来・生福地域 有元 操)